



日本ボーイスカウト神奈川連盟創立60周年記念

第12回 神奈川キャンポリー

参加隊指導者の手引

2009/7/5



テーマ『朝霧高原から新たなる出発』
～手をつなごう・友と地球と～

平成21年8月2日(日)～6日(木)
静岡県富士宮市根原 朝霧高原



日本ボーイスカウト神奈川連盟

～Since1964～

<目 次>

第1章	開催の主旨	1
第2章	名称	1
第3章	テーマ	1
第4章	会期	1
第5章	会場の地理的条件	2
第6章	参加者・参加資格	2
第7章	参加費	3
第8章	参加申込	3
第9章	隊指導者の任務	3
第10章	組織と運営	5
第11章	キャンポリー活動と日程	7
第12章	参加章・参加綬	7
第13章	服装および携行品	8
第14章	石鹼とプロパン使用に関する注意	9
第15章	本部が準備する設備	10
第16章	配給	10
第17章	救護衛生	10
第18章	安全管理・緊急避難	11
第19章	通信	12
第20章	輸送	12
第21章	大会運用車両	13
第22章	参加隊等の入場・生活・退場	13
第23章	参観者の来場	15
第24章	規制事項	15
付表1	第12回神奈川キャンポリー日程表	16
様式-2	参加報告書	17
様式-2-2	参加報告書名簿	18
様式-3	参加隊日報	19
様式-4	野営区外出許可願	20

日本ボーイスカウト神奈川連盟創立 60 年記念

第 1 2 回神奈川キャンポリー

参加隊指導者の手引

第 1 章 開催の主旨

第 1 2 回神奈川キャンポリー（1 2 K C）は神奈川連盟設立 6 0 周年を記念し、スカウト運動の未来への足がかりとするために開催する。

県内スカウトが朝霧高原に集い野外生活を通じて、自然への畏敬、仲間との友情を育み、スカウティングの原点である班制度と進歩制度を基盤とするプログラムを楽しむ機会とする。さらに参加者は大自然に学び、自らの成長する力を自覚し、よりよき社会人としての資質を高めることによって今後のスカウト運動の発展に大きく寄与することを目的とする。

- (1) 『ちかい』と『おきて』の実践につとめる。
- (2) 世界環境保護と自然の大切さを考える場にする。
 - 大自然の恵みに感謝し、野営地を大切に使用する。
 - 残材やゴミを少なくすることを工夫する。
 - 資材の持ち込み量を少なくし野営を工夫する。
- (3) 野営生活を楽しみ、簡素で、ゆとりある大会を心掛ける。
- (4) ベンチャースカウトも運営に加わりプロジェクト達成の機会を得る。

第 2 章 名称

日本ボーイスカウト神奈川連盟設立 6 0 周年記念
第 1 2 回神奈川キャンポリー（神奈川連盟合同野営大会）

第 3 章 テーマ

『朝霧高原から新たな出発』 たびだち 一手をつなごう～友と地球と一

第 4 章 会期

- (1) 本大会は平成 2 1 年 8 月 2 日（日）の開会式に始まり、8 月 6 日（木）の環境整備をもって終了する。
- (2) 会場は、8 月 1 日（日）1 3 時に開場し、8 月 6 日（木）1 8 時に閉場する。
- (3) 参加隊は 8 月 2 日（日）1 3 時までに会場に到着し、地区野営区本部で到着手続きを完了して開会式までに設営を完了する。また、8 月 6 日（日）1 2 時までに環境整備および撤営を完了し、1 6 時までに退場する。

第5章 会場の地理的条件

静岡県富士宮市根原 朝霧高原 (第13回世界ジャンボリー跡地)

1. 会場の位置

JR富士宮駅から北方約12km

東経138°35′ 北緯35°25′ 海拔 720m～840m

2. 会場の地勢・面積

静岡県富士山麓に広がる裾野地帯、なだらかな起伏のある草原地帯で地質は、富士火山帯特有の洪積火山灰土である。飲料水は、会場北方『雨ヶ岳』を水源とする開拓用水が会場に通水され水質は中性の軟水で、飲用に適している。

3. 気候

7月下旬～8月下旬の気候

気温 最高33.6℃ 最低気温13.6℃

朝夕に霧が発生する高原特有の気象である。

第6章 参加者・参加資格

12KCの参加者及び参加資格は、次の通りとする。

1. 参加者

- (1) キャンボリーの参加者は、神奈川連盟に所属し平成21年加盟登録済みのボーイスカウト、ベンチャースカウトおよびローバースカウト、ならび指導者とする。
- (2) 他県連および外国スカウト連盟のボーイスカウトおよびベンチャースカウト該年齢のスカウトおよび指導者が参加を希望する場合は、神奈川連盟所属のいずれかの参加隊が世話役を務めることを確認して受け入れることができる。
- (3) 大会運営に必要な指導員ならび指導者および大会本部が必要と認めた関係者は参加奉仕することができる。
- (4) オープン・キャンプディ参加者は大会本部が決めた日程においてビーバースカウト、カブスカウトならびに指導者が参加できる。
- (5) オープン・キャンプディには大会本部が認める一般児童ならびに保護者および引率者の参加できる。

2. 参加資格

- (1) ボーイスカウト・ベンチャースカウト
 - ・ 隊長および保護者の参加承認を得ていること。
 - ・ 期間中、野営生活に耐え得る健康を充分維持できること。
 - ・ 参加費を納入していること。
- (2) 指導者、ローバースカウトならびに奉仕者
 - ・ 事前準備から事後処理まで、十分に任務を遂行できること。
 - ・ 参加費を納入していること。

第7章 参加費

1. 参加費は、スカウト・指導者および奉仕者(大会本部要員および他県連・外国スカウト・ガールスカウトを含む)ともに1名あたり15,000円とする。
2. 参加費は、次の費用に当てる。
 - (1) 8月2日夕食分から6日昼食分までの12食分の配給食料費。
(ただし、米は含まない)
 - (2) 参加章および配布資料などの費用
 - (3) 会場の設備費および運営費の一部
 - (4) 期間中の救護医療費および衛生費の一部
 - (5) 傷害保険料
 - (6) その他
3. 納入した参加費は、他の参加者に振り替える事は出来るが、払い戻しはしない。ただし、主催者側の判断で大会を中止・延期とした場合の払い戻しについては、その中止・延期決定時に通知する。
4. オープン・キャンプディ参加者および参観者の参加費については、別に定める。

第8章 参加申込

1. 参加予定申込
 - (1) 各団参加希望者は参加予定申込書に必要事項を記入し、参加予納金1名あたり5,000円を添えて、平成20年12月16日までに地区事務局に申し込む。
 - (2) 各地区事務局は、各団からの参加予定申込書をまとめ、予納金を添えて平成20年12月26日までに県連事務局に申し込む。
2. 参加確定申込
 - (1) 各団参加申込者は、参加確定申込書に必要事項を記入し、参加費の残金1名あたり10,000円を添えて平成21年2月末日までに地区事務局に申し込む。
 - (2) 各事務局は、各団からの参加申込書を取りまとめ、参加費残金を添えて平成21年3月20日までに県連事務局に申し込む。
 - (3) 参加申込書は、参加隊(班)毎に3部作成して地区事務局へ送付する。所定の手続きを終えた確定申込書の1部は団に返送され、参加隊が大会会場へ携行する。

第9章 隊指導者の任務

参加隊の活動は、本キャンポリーの主軸をなすものであり、12KC開催の主旨を全うするために、隊指導者の任務を次のとおり明確にする。

1. 隊長

隊の指揮者であり、隊の行動、野営生活、運営について一切の責任を負う。

〔主な任務〕

- ① 隊運営の方針を維持し、自隊スカウト活動について、12KCの目的を達成するため、副長、上級班長、班長を通じて助言、指導を行う。

② 往復の旅行中および会場内外における自隊スカウトの健康、安全、規律、行動について責任を負う。

③ 地区野営区本部と連絡調整を行い、野営区の運営に協力する。

2. 副長

隊長を補佐し、隊長不在時は、その業務を代行する。また、2名以上いる場合はその業務を分掌する。

〔主な任務〕

(1) 庶務担当副長

① 隊の庶務全般および隊備品、個人装備等の輸送に関すること。

② 隊所有備品、スカウト個人装備および地区野営区本部より支給される物品等の管理保全に関すること。

③ 地区野営区での業務の分担に関すること。

④ キャンプサイトの整理、整頓、衛生管理に関すること。

⑤ 炊事場、便所等の清掃に関すること。

⑥ 期間中、毎日9時30分までに、参加隊日報「様式一3」を地区野営区本部へ提出すること

(2) プログラム及び安全担当副長

① プログラム及びキャンポリープログラムへの参加推進に関すること。

② 地区野営区行事班業務の支援に関すること。

③ 安全の確保とスカウトの健康保持及び救急業務の遂行に関すること。

3. 副長補

副長を補佐し、隊長から分掌を命じられた任務を行う。

〔主な任務〕

① 副長の業務に準ずる。

4. 隊付

隊長から分担を命ぜられた特定の任務を行う。

〔主な任務〕

① 記録係として、スカウト個人のプログラム参加状況と記録、隊の活動記録作成、文書の保存、報告等に関すること。

② 備品係として、隊備品及び配給品等を担当し、各種備品、資材、配給等の管理と整備に関すること。

③ 庶務的な仕事について、庶務担当副長を援助する。

5. 上級班長

隊の指揮統率上最も重要な立場であり、隊長の準導のもとに隊活動の中心となる。

〔主な任務〕

① 隊活動の責任を持ち、班長会議の座長となり隊運営について責務を全うする。

② 班長と隊長の間にあつて、各班長に協力し班長の仕事を助け、助言を与える。

③ 毎朝朝礼を行い、常にスカウトの健康に留意する。

6. 班長

上級班長の指揮のもとに、班活動の中心となる。

〔主な任務〕

- ① 自分の班全体または班員に与えられた任務について、その実行の推進に責任を持つ。
- ② 班のテント、各種設備、備品等を管理し、整理整頓および班サイトの清掃に責任を持つ。
- ③ 班員の行動をいつも把握し、規律の維持に努める。

7. 次長

班長を補佐し、班長が不在なときはその任務を代行する。

〔主な任務〕

- ① 班長の任務に準ずる。

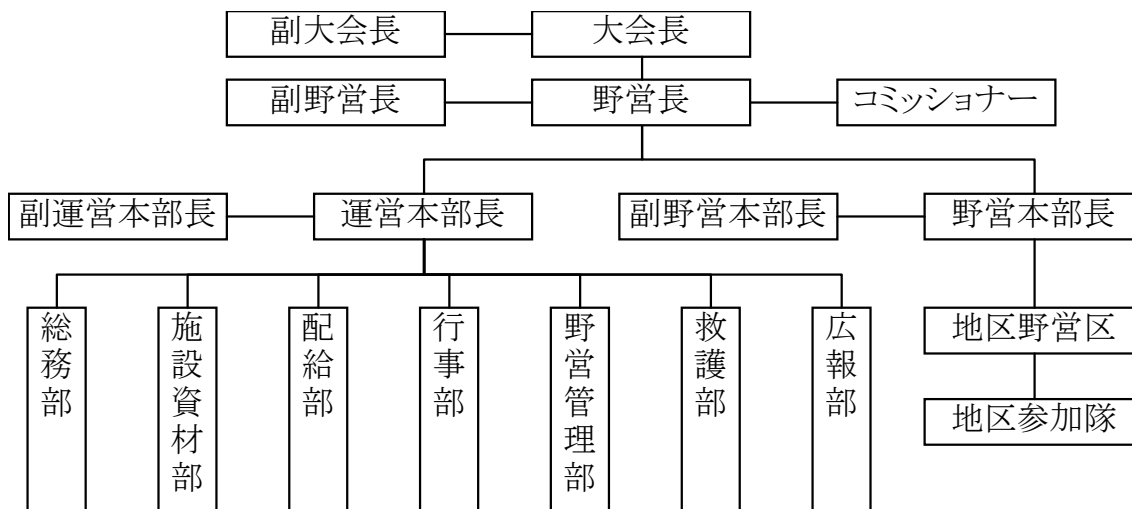
第10章 組織と運営

1. 組織運営

12KCは、キャンポリー大会本部と12の地区野営区と参加隊で組織し、大会本部⇒地区野営区本部⇒参加隊の系統により運営する。

2. 大会本部の編成

- (1) 大会本部は、下記の組織をもって構成し、それぞれの分野、役割に応じて活動する。細部については『大会本部の組織と業務』に定める。
- (2) 大会本部は、運営機能の必要部分を地区野営区本部に委任する。



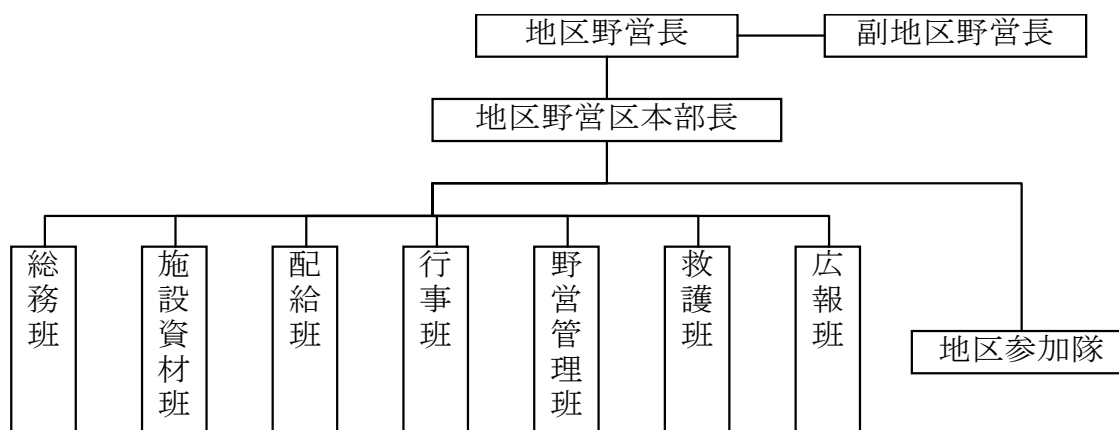
3. 地区野営区本部の構成と任務

- (1) キャンポリー会場は、12の地区野営区に分かれ、各地区野営区では野営区本部が管理、運営、調整にあたる。
- (2) 各野営区には、担当地区において加盟登録している参加隊が配置される。

(3) 野営区No.と担当地区は以下のとおり。

野営区No.	担当地区	サイト名	野営区No.	担当地区	サイト名
第1野営区	市浦	G	第7野営区	小田原	M
第2野営区	横浜	J	第8野営区	横浜中央	N
第3野営区	湘南	I	第9野営区	横須賀	N
第4野営区	横浜南央	I	第10野営区	横浜みなと	N
第5野営区	県央	M	第11野営区	川崎	O
第6野営区	湘北	M	第12野営区	江南	P

(4) 地区野営区の組織



(5) 地区野営区本部の主な任務

- ① 野営管理（野営区内の地割りを含む）
- ② 配給業務
- ③ 自主活動の企画と運営
- ④ 参加隊との連絡調整（隊長会議の主催と要望の反映）
- ⑤ 自主参加行事（選択プログラム）の企画と運営
- ⑥ やまゆり賞の認定と交付
- ⑦ 全体行事の分担と協力
- ⑧ その他、12KCの必要な事項

細部については『地区野営区本部の組織と業務』に定める。

(6) 地区野営区要員は、所定のサイトで野営生活をする。

4. 参加ベンチャースカウトの奉仕

地区野営区の日常業務の一部は、参加ベンチャースカウトの奉仕により行われるように期待する。

奉仕内容は、地区野営区の配給、清掃衛生、警備などのほか、大会本部各部の業務に積極的に奉仕することが望まれる。

第 1 1 章 キャンポリー活動と日程

1. 日程編成の基本方針
 - (1) 参加スカウトにとって、思い出多い大会とするため、魅力あるプログラムを設定し期間中一人でも多くの友人が得られるよう、ゆとりあるキャンポリー活動を目指す。
 - (2) 全体行事は、開会式・宗教儀礼・12KCのタベ・キャンポリー大営火・閉会式として、参加者全員が一堂に集い開催する。
 - (3) 自主参加行事（選択プログラム）は、大会本部・地区野営区本部が示す日程により参加者が一定の基準に従って参加する。
 - (4) 全体行事、自主参加行事（選択プログラム）ともにその企画実施に当たっては、野営日課の厳守を原則とする。
 - (5) キャンプ地は現状に戻し、感謝のみを残して退場することがスカウトキャンプの原則である。このため、8月6日午前中に環境整備を実施する。
2. やまゆり賞の設定
 - (1) スカウトの自主参加活動を奨励するため、やまゆり賞を設定する。
 - (2) やまゆり賞は、キャンポリー活動が一定の基準に達したスカウトに地区野営長から授与する。やまゆり賞の細部は別に定める。
3. キャンポリー日程表（付表1参照）
4. 国旗掲揚ならびに降納

国旗掲揚は、8時00分に行い、その方法は次のとおりとする。

 - (1) 国旗掲揚は、各所すべての掲揚所において、国旗掲揚手は正装で集合し、8時に掲揚を行う。
 - (2) 国旗降納は、各所すべての掲揚所において、国旗掲揚手は正装で降納の準備をして18時に降納を行う。
5. 隊訪問交歓

隊訪問交歓はキャンポリーの最も有意義なプログラムの一つである。スカウトらしい訪問と交歓を期待する。物の交換は自由であるが、これを強要したり度が過ぎてはならない。また、自分の所属や身分が紛らわしくなるような交換の仕方にも慎まなければならない。
6. オープン・キャンプディ

8月4日（火）をオープン・キャンプディとする。当日は、12KC見学のため来場するビーバースカウト・カブスカウトおよび一般参加者を対象としたプログラムを実施する。オープン・キャンプディプログラムの細部については別に定める。

第 1 2 章 参加章・参加綬

1. キャンポリー会場への入場者は、参加章着用者に限る。
2. 参加章・参加綬
 - (1) 参加者に対しては、布製の参加章1枚を配布する。正装上着の右ポケット中央部に着ける。
 - (2) 参加者の原隊旗に対して、参加綬を贈る。

第13章 服装および携行品

1. 服装

- (1) 参加者の服装は、制服（活動着を含む）とする。
- (2) 大会期間中は、大会参加者用 ID カードを着用する。
- (3) 開会式、閉会式、朝礼、宗教儀礼、その他公式の場では正装で参加する。
- (4) 自隊のサイト内および作業に従事する場合は、それにふさわしい服装とする。
- (5) ネッカチーフは、所属地区(隊)が指示するものを着用する。
- (6) プログラムに参加するときの服装は、別に発行する『プログラムガイド』に従う。

2. 携行品および野営装備

12KC の携行品および野営装備は、快適な野営生活を維持し、かつ、楽しいキャンポリー活動が展開できるよう、簡素で、しかも精選されたものを準備する。その標準は次のとおりとする。

(1) 個人携行品

- | | | |
|----------------------------|-----------|------------|
| ・加盟員登録証 | ・ロープ | ・水泳パンツ |
| ・キャンポリーガイド | ・コンパス | ・ねまき |
| ・ユニフォーム | ・手旗 | ・作業用手袋 |
| ・活動着 | ・懐中電灯 | ・針糸等補修用具 |
| ・作業着 | ・食器類（個人用） | ・筆記用具 |
| ・寝具類（寝袋等） | ・主食（米） | ・交歓品・営火用品 |
| ・雨具 | ・水筒 | ・健康保険証コピー |
| ・各種着替え | ・洗面具 | ・救急用品（持薬等） |
| ・ナイフ（隊長が許可した者のみ。旅行中はカバンの中） | | ・体温計 |
| ・ハンカチ・ちり紙 | ・健康調査票 | ・マスク |
| | | ・虫よけ |
| | | ・その他 |

(2) 隊・班携行品および装備

- ・炊事用プロパンガス器具（隊の携行品）

炊事用燃料はプロパンガスを使用するものとし、薪は配給しない。

各隊（参加隊）は次のものを持参する。

プロパンガス用のコンロ（ガス器具）

* 注意：ホースの二股使用は禁止（レギュレータが二股になっているものは可）。

- | | | |
|----------------------|---------------------|-----------|
| ・レギュレータ（台数分） | ・プロパンガス用のゴムホース（台数分） | |
| ・ゴムホースバンド（台数分） | ・ガスコンロを置く台（台数分） | ・消火器 |
| ・調味料 | ・テント | ・灯具 |
| ・フライシート | ・救急品一式 | ・国旗・班旗 |
| ・浄水汚水 貯水/運搬バケツ | ・配給開始前後の食料品 | ・炊具一式 |
| ・修理具一式 | ・イス/テーブル | ・工具一式 |
| ・会場付近地形図 | ・その他設営資材 | ・確定申込書控 |
| ・参加報告書「様式 2」「様式 2-2」 | ・隊旗 | ・交歓品/営火用品 |

第14章 石鹼とプロパン使用に関する注意

◆天然成分の石けんの使用

ふだん皆さんが目にし、使用している、台所洗剤、洗たく洗剤、シャンプーなどは、石油などから精製された合成洗剤です。合成洗剤は分解されにくく、自然界に大きな負担をかけます。

今回のキャンポリーでは、天然油脂などを原料にした石けんを使用してください。

たとえば、

◎ボックス ナチュロンシリーズ

シャンプー、ボディークリーム、化粧石けん、キッチンシャボン

◎matsuyama 無添加せっけん

◎MIYOSHI 純石けん、無添加白い石けんなど

◎シャボン玉石けん 食器洗い石けん、ニュークリーナーなど

◆プロパンの安全な使用

①プロパン機器接続の注意

- ・ガスボンベから調整機（レギュレータ）を通してゴムホースにつなぐ。
- ・LPガス用の機材を使い、ホースを完全にはめ込んだのち、ホースバンドをする。
ガス漏れ点検は、石けん水を塗って泡で見る
- ・ガスボンベは日陰に、倒れない工夫をして設置する

②着火と消化の確認

- ・必ず目で見て確認する
- ・青い炎が正しく、黄色いときは空気不足、色が薄いときは空気が多すぎる

③ガス漏れの防止

- ・ガスコンロ周囲に風除けを設置する
- ・焼け焦げ、煮こぼれを起こさない

第 15 章 本部が準備する設備

1. 地区野営区域
 - (1) 各参加隊の設営地が 1 人当たり 15 m²の基準で、地区野営区域の割り当てを行う。
 - (2) 給水施設、便所等を計画表により設置する。
 - (3) 地区野営区本部は、大会本部の定める地区野営区において参加隊へのサイト割り当てを行う。
2. 公共地域と施設

会場内道路、イベント広場、アリーナ、駐車場、会場ゲート、シンボルタワー、会場受付テント、便所、シャワー等。
3. 大会本部関係施設

事務用テント、本部員宿泊テント、来賓休憩用・宿泊テント、食堂用テント、会議用テント、救護所テント、倉庫用テント、行事用施設、照明施設、音響装置、各付属設備等。
4. 関係協力機関施設

別途定める
5. 売店

日本連盟需品売店（スカウト用品・記念品）、一般売店（日用品・清涼飲料その他）、大会本部が認めた以外の販売物品は、一切禁止する。

第 16 章 配給

1. 食料配給期間は、次のとおりとする。

8/1(土)	8/2(日)	8/3(月)	8/4(火)	8/5(水)	8/6(木)	
← 食料自給 →		← 配 給 期 間 →				昼
2. 配給期間前後の食糧は、それぞれが準備する。ただし、地区野営区本部員用に、事前申請により食材の配給を行う。
3. 大会本部要員は、原則として全期間給食とする。
4. 献立表および配給方法は、別に定める。

第 17 章 救護衛生

1. 救護所

医療救護の万全を期するため、次の救護所および医療施設を設置する。

①地区野営区救護所 ②本部救護所 ③本部が委託す会場外の病院

 - (1) 参加者の傷病の応急処置は、各地区野営区の救護所が担当する。
 - (2) 地区野営区で処置できない傷病については、本部救護所が担当する。
 - (3) 特別の診療を必要とする場合は、大会本部が委託した病院・医院に送る。
2. 健康調査
 - (1) すべての参加者は、配布される健康調査票 3 部に必要事項を記入し、会場到着時に所属する地区野営区本部（大会本部）へ 2 部を提出する。

- (2) 参加スカウトは、別に発行する『キャンポリーガイド』の健康チェック欄に必要な事項を記入して会期中常時携行し、救護所において診療を受けるときにはそのページを提示する。
3. 個人衛生・健康管理
 - (1) 参加スカウトは、隊長の指導のもとに、保健衛生・健康管理に十分留意する。
 - (2) 防虫剤を用意し、ぶよ・蚊の被害を防ぐ。
 - (3) 手洗いを励行し、生水を飲まない。
4. 環境衛生
 - (1) 上水道施設、便所、シャワーその他の共同施設は、使用者が清掃を担当し、汚さないように注意して清潔を保つ。その清潔な維持には、当該サイトの地区野営区本部が共同で責任を持つ。
 - (2) 塵芥は、各サイト毎の指定場所に分別して集積する。使用者が清掃を担当し、正しい分別、清潔な維持には当該サイト内の地区野営区本部が共同で責任を持つ。分別・廃棄・回収方法は、別途定める。

第 18 章 安全管理・緊急避難

1. 安全管理

快適な野営生活を過ごすとともに、キャンポリー「を心に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。

指導者は、野営生活・キャンポリー活動を通じて、安全指導・安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。

参加者は、定められたルールを厳守しなければならない。

安全管理に関する細部については、別に発行する『安全管理ハンドブック』に示す。

2. 緊急避難

(1) 避難命令の発令

緊急避難は、台風・豪雨・地震等により野営生活が困難となり、スカウトの安全を図る必要が生じたときに行う。

野営長は大会本部野営本部長との協議・判断のもと、地区野営区本部長に連絡し、その指示によって緊急命令を発令する。

(2) 緊急避難先

以下の施設を緊急避難先とする。

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・富士宮市 井之頭中学校（体育館） | 富士宮市猪之頭 999 |
| ・富士宮市 井之頭小学校（体育館） | 富士宮市猪之頭 168 |
| ・富士宮市 人穴小学校（体育館） | 富士宮市人穴 362 |

(3) 緊急避難の手順は、「安全管理ハンドブック」による。

第19章 通信

1. スカウトの携帯電話の使用は参加隊指導者の判断により適格に指示される。
2. 地区野営区本部で使用する携帯電話及び充電設備等の一切は、地区野営区本部にて準備、管理する事とする。

第20章 輸送

各隊は、所属する地区との協議により、会場までの交通機関や資材・荷物の輸送方法を準備する。

会場への往復交通費用および、地区野営区本部、各隊に必要な資材・荷物の輸送費用は、参加地区・隊の負担とする。

1. 貸切りバス利用の入退場
 - (1) 所定の書式により、予めバス会社名、到着予定日時等を大会本部野営管理部に連絡する。
 - (2) 貸切りバスは、定められたキャンポリーの交通規則を厳守し、秩序正しく会場へ入場する。なお、会場内へ留め置きはできない。
 - (3) 会場到着時はアリーナ降車地点で全員下車し、徒歩にて各地区野営区へ入場する。バスは「朝霧野外活動センター」方面からアリーナ周回道路を左周りに進入し、会場ゲートを先頭に前詰めに停車する。安全確認後速やかに降車する。入場集中時は、バスは手前の道路で進入を待つ。
 - (4) 退場時は、別途地区ごとに定める時間割に従い、アリーナ周回道路から乗車する。周回道路には、地区毎の停車位置を番号で明示する。バスは到着時同様、アリーナを左回りに定められた番号を先頭に停車し、乗車後は速やかに出発する。各地区は契約するバス会社と連携し、スカウトが乗車するバスがよくわかるよう手配する。
 2. 鉄道利用の入退場
 - (1) JR 東海道線『富士』駅より、身延線乗換え『富士宮』駅下車。
『新富士』駅・『富士宮』駅とも、富士急バス『富士吉田』行、『朝霧』バス停下車
徒歩約 20 分。
 3. 自家用車利用の入退場
 - (1) 原則として、自家用車や自動二輪(バイク)は入退場に用いない。
 4. 資器材・荷物の輸送
 - (1) 宅配便等での輸送はできない。
 - (2) 参加隊のすべての携行品・荷物には、地区野営区番号、隊名を明記する。参加スカウトの荷物にも各自にて団名・氏名を明記する。
 5. オープン・キャンプディの輸送は、別途「オープン・キャンプディの手引」にて通知する。
-

第 21 章 大会運用車両

入場ゲート内（場内）では、大会運営上最低限必要な車両のみを通行許可し、原則 車両（乗用車/トラック/バイクなど種類を問わず）の運行は行わない。

1. 緊急連絡車両
 - (1) 地区野営区は、各 1 台の車両を緊急連絡車両として地区野営区内に駐車できる。
 - (2) 緊急連絡車両は、場内では大会本部野営管理部が発行する「緊急用車両」の許可証を常時ダッシュボード上に掲示する。
 - (3) 平常時の運行は不可（動かさない）。
 - (4) 緊急の運行時には、細心の安全注意と配慮をもって場内では徐行運転をする。
2. 地区野営区連絡車両・参加隊連絡車両
 - (1) 運用車両として、野営区あたり 1 台の車両を指定駐車場へ駐車可能とする。
 - (2) 運用車両として、参加隊あたり最大 1 台の車両を指定駐車場へ駐車可能とする。ただし、事前に地区内において調整を行い必要最低限の台数に留めること。
 - (3) いずれの運用車両も入場ゲート内には進入できず、アリーナ東側の指定駐車場にのみ駐車できる。
 - (4) 指定駐車場内では、大会本部野営管理部が発行する「連絡用車両票」を常時ダッシュボード上に掲示する。
 - (5) 指定駐車場は、防犯のため毎日 22 時から翌朝 6 時まで施錠する。
3. 資器材・荷物の輸送車両
 - (1) 地区野営区および参加隊の資材輸送車両として、必要最低限の車両を指定駐車場へ駐車可能とする。
 - (2) 大会本部野営管理部が発行する「輸送用車両」の許可証を常時ダッシュボード上に掲示する。
 - (3) 設営時は 8 月 1 日の終日および 2 日の 12 時までを入場ゲート内（場内）への進入を可とし、12 時には場内から輸送車両の退出を完了していること。
 - (4) 撤営時は 8 月 6 日の 9 時～12 時まで入場ゲート内（場内）へ進入を許可する。ただし、場内から輸送車両の退出は、安全上の理由から 12 時まででは不可（動かさない）とする。

第 22 章 参加隊等の入場・生活・退場

1. 入場および入場手続き
 - (1) 参加隊は、8 月 2 日（日）正午までに会場に到着し、夕刻に開始する開会式までに設営を完了する。
 - (2) 参加隊は会場到着後、速やかに地区野営区本部で到着手続きを完了する。
 - ① 『参加報告書』「様式-2」・到着人員名簿「様式-2-2」を提出し、申込名簿と到着人員との照合を確認する。
 - ② 配布物品の交付
 - ③ 外国派遣隊の受付は、運営本部の国際担当が行う。
 - ④ 確定申込を超える追加参加は認めない。

2. 設営の注意

- (1) 炊事はキャンプ場の常設炊事場で行うのではなく、各隊サイトにて行う。
従って、清水の運搬、汚水の貯水と運搬が必要になる。
- (2) シャワーの利用方法は、別途定める。

3. 生活の注意

以下の行為はキャンプ場から修復費用の請求行為になるので、厳禁とする。

- (1) 直火はできない。芝の焼き焦げは、その広さに応じて修復費用を請求される。
- (2) 穴を掘ることはできない。芝の欠損は、その広さに応じて修復費用を請求される。
- (3) ゴミを埋めてはならない。持ち込んだものはすべて持ちかえることを原則とするが、小さな生活ゴミのみはサイトごとに設置するゴミ集積所に集積する。廃棄方法は、別途指示する。なお、配給食材のゴミは、食材調達業者にて回収される。
- (4) 汚水をテントサイトに垂れ流さない。
汚物を除去してから各野営区にて指定する常設炊事場に排水する。

4. 撤営の注意

- (1) テントサイトや炊事場、トイレなど、野営区内には一切のゴミを残さない。
持ち込んだ資材や工作材料、個人装備は全て持ち帰る。残っていた場合の撤去および廃棄費用はキャンプ場より請求されるので、その費用を当該地区に請求する。
- (2) 小さな生活ゴミのみは廃棄できるが、分別したうえ各サイトに設置するゴミ集積所に集積する。
- (3) 大会本部より貸与された資材などの回収方法は後日通知する。
- (4) 芝地の焼け焦げを含むキャンプ場施設や資材の破損は、地区野営区本部を通じ、大会本部野営管理部に連絡し、当該地区は費用を負担する。
- (5) 野営区、炊事場、トイレの清掃は確実に行う。不備があったときは、キャンプ場より清掃費用が請求されるので、その費用を当該地区に請求する。

5. 退場手続きおよび退場

- (1) 8月6日（木）午前9時から各野営区一斉に環境整備を実施する。
- (2) 各参加隊長は、撤営作業が完了した後、地区野営区本部長に報告し、その点検を受け、正午12時までには必ず撤営完了の承認を得た後退場する。
- (3) 地区野営区本部関係者の退場については、大会本部の了解のもとに行う。
報告の仕方は別に定める。

第 2 3 章 参観者の来場

1. 参観者（見学スカウト・一般参観者）の入場は、毎日 10 時～21 時までとする。
2. 参観者は、会場ゲートで、氏名と関係 B S 地区、団を申告する。
3. 参観者の輸送および会場周辺における宿泊・食事については、それぞれ原隊において計画実施する。
4. 参観者が自家用車で来場した時は、会場ゲートでの受付時に駐車を申告し、大会本部野営管理部が発行する「参観者車両」票をダッシュボード上に掲示して指定駐車場に駐車できる。
5. オープン・キャンプディへの参加は別途「オープン・キャンプディの手引」にて通知する。

第 2 4 章 規制事項

1. 主会場から 5km 以内の範囲に、スカウト隊のキャンプを禁止する。
2. 女子指導者の宿泊は、所属先の指示による。
3. 会期中、参加者の私用による会場外へ外出（泊）については、次の許可を必要とする。
 - (1) 大会本部奉仕者は『運営本部長』の許可を要す。
 - (2) 地区野営区参加者は『野営区外出許可願』「様式一 4」を提出し、地区野営区本部長の許可を要す。
4. 会期中、会場内における個人車両の使用は認めない。ただし、集散時のバス・トラックは、一定の統制のもとで運行できる。大会本部用車両、警察、消防、救急などの緊急車両、報道、郵便その他の各用務車両は、別に定める基準により運行する。
5. 行商人の入場販売行為を厳禁する。
6. 花火の持込みおよび使用を禁止する。
7. ペットの持込みを禁止する。

付表1 第12回神奈川キャンポリー日程表

時刻	前日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日		
	8月1日(土)	8月2日(日)	8月3日(月)	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)		
5:30	炊事起床		← 当番起床 →					
6:00	全員起床		← 全員起床 →					
7:00	朝食		← 朝食 →					
8:00	国旗掲揚		← 国旗掲揚 →					
9:00	本部要員 集合完了	参加隊入場	選択プログラム	宗教儀礼		選択プログラム	環境整備	撤 営
11:00		到着手続き		設 営	オープン・ キャンプ デー			
12:00		完了	昼 食 休 憩			昼 食 休 憩	昼 食 休 憩	昼 食 参加隊退場 開始
13:00		開場	完了	選択プログラム	選択プログラム	選択プログラム	— 16:00 — 退場完了	
13:30		設 営	完了	選択プログラム	選択プログラム	選択プログラム		
16:30			完了					
17:30	営	← 訪問間交歓 →				— 18:00 — 閉 場		
18:00		← 夕 食 →						
18:00		← 国旗降納 →						
19:00		開会式		12KCの夕べ	キャンポリー 大営火	閉 場		
21:00				(閉会式)				
21:00		← 班長会議 →						
22:00		← 消 灯 →						

※8月4日(火)をオープン・キャンプデーとする。

 全体行事

参加報告書

第____野営区長 殿

_____地区

_____第____団____隊

または 地区派遣隊 第____隊

下記のとおり、第12回神奈川キャンポリーに参加するため到着
しましたので、報告します。

記

1. 到着人員

リーダー_____名 スカウト_____名

計_____名

2. 到着名簿（別添様式2-2による）

3. 到着日時

2009年 8月_____日_____時_____分

4. 退出予定日時

2009年 8月_____日_____時頃

様式－２－２ 参加報告書名簿

到着人員名簿						
No.	役務	氏名	年齢 (学年)	住所	電話	健康調査 書の有無
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

様式－3 参加隊日報

参加隊日報

2009年8月__日 __ : __

第__野営区 _____地区

_____第__団_____隊

または 地区派遣隊 第_____隊

	指導者	スカウト	合計
人員 状 況	①前日__時の人員		
	②本日の退場人員		
	③本日の入場人員		
	④本日__時の人員 (④=①-②+③)		
事故	(事故にあった場合はその概要、特に処理結果を書く)		
主要 行 事	(スカウトの参加した主要行事および参加数を書く)		
所 見	発熱や咳などインフルエンザの疑い・予兆のあるスカウト・指導者が いない ・ いる (現況 : _____)		
	(運営上気付いた点を記入し、翌日以降の改善の資とする)		
備 考	(外出状況等を記入する)		
※この日報は、毎日__時に総務班へ提出してください。			

様式－４ 野営区外出許可願

受領番号 _____	
野 営 区 外 出 届	
平成21年8月 日	
_____ 野営区本部長 殿	
地区 第 団 隊	
または 派遣隊 第 隊	
氏名 _____	
他 名	
下記により外出したいので届出をいたします。	
1. 外出日時	8月 日 時 ~ 8月 日 時
2. 外出先	_____
3. 外出理由	_____
隊長 _____ 印	総務係 _____ 印
----- キリトリ線 -----	
受領番号 _____	
野 営 区 外 出 届 受 領 証	
平成21年8月 日	
地区 第 団 隊	
または 派遣隊 第 隊	
氏名 _____	
他 名	
1. 外出日時	8月 日 時 ~ 8月 日 時
2. 外出先	_____
上記の外出届けを受領する。	
_____ 野営区本部長 印	

第12回神奈川キャンポリー サイトマップ



第12回神奈川キャンポリー 全体・選択プログラム

全体プログラム

開会式

8月2日 19:00~20:00 イベント広場

宗教儀礼

8月4日 9:00~10:30 イベント広場その他周辺

オープンキャンフデイ

8月4日 9:30~21:00 会場全体

12KCの夕べ

8月4日 19:30~21:00

大營火・閉会式

8月5日 19:00~20:30

選択プログラム

Let's Chalange!

やまゆり賞をGetするには、アドベンチャー部門から2つ、
クリエート部門から1つ、フレンドシップ部門から1つ、
地球開発部門から1つ以上をチャレンジすること!

アドベンチャー部門

[会場:場外]

- 人穴探検 出口は江/島?
- トレッキング・自然観察
- 麓周辺のハイキングコース
- 鱒つりと燻製作り

[会場:アリーナ]

- 場内ポイントハイキング3種
- のろし 薪割り
- 丸太切り(のこぎり)
- 火お越し
- ウォールクライミング
- フィールドアスレチック
- メリーゴーランド 通信塔
- 空き缶バランス運び
- タイヤでバランス
- キャノン砲



[会場:イベント広場]

- 吹き矢、
- フライングゴルフ

クリエート部門

[会場:イベント広場]

- キャンドルアート

[会場:メインストリート]

- トレード



[会場:Kサイト]

- 水の浄水器づくり

[会場:Qサイト]

- アルミ缶工作、
- 木工クラブ、
- 塩ビパイプ工作、
- レザークラブ、
- フォーメラン キーホルダー
- デザインTシャツ

[会場:アリーナ]

- 水風船アート



地球開発部門

[会場:Kサイト]

- 排水処理プログラム
・水質調査、
- 災害支援チーム
- 赤十字 NGO
- 世界食料計画 国連
- ユニセフ 国連



フレンドシップ部門

[会場:場内全体]

- 名刺交換
- 地区訪問

[会場:Qサイト]

- デジカメ写真コンテスト

[会場:イベント広場]

- 2000人の人間椅子
- フォーラム

野营区No.	
派遣隊	
氏名	
所属地区・団	